

## 代謝・栄養疾患

設問1 高脂血症の所見で高値を示さないのはどれか。

1. トリグリセリド
2. HDL コレステロール
3. カイロミクロン
4. リポ蛋白

設問2 脂質異常症の発症にかかわる危険因子でないのはどれか。

1. 不眠
2. 過食
3. 喫煙
4. 運動不足

設問3 原発性高脂血症の分類と疾患の組合せで正しいのはどれか。

1. トリグリセリド———脾梗塞
2. コレステロール———急性膵炎
3. トリグリセリド———脱疽
4. コレステロール———甲状腺機能亢進症

設問4 高脂血症について誤っているのはどれか

1. I型高脂血症ではカイロミクロンが増加している。
2. V型高脂血症ではリポ蛋白が増加している。
3. 家族性高コレステロール血症に老人環がみられる。
4. 家族性高コレステロール血症は心筋梗塞に続発することがある。

設問5 続発性脂質異常症の分類で高コレステロール血症の原因とならないのはどれか。

1. 甲状腺機能低下症
2. ネフローゼ症候群
3. 原発性胆汁性肝硬変
4. 原発性アルドステロン症

設問6 続発性高脂血症の分類で高トリグリセリド血症の原因とならないのはどれか。

1. 飲酒
2. 肥満
3. 全身性エリテマトーデス
4. 関節リウマチ

設問7 高脂血症の合併症でないのはどれか。

1. 急性膵炎
2. 心筋梗塞
3. クレーブス病
4. 高血圧症

設問8 続発性高脂血症の原因にならないのはどれか。

1. 甲状腺機能亢進症
2. 糖尿病
3. アルコール
4. 運動不足

設問8 代謝疾患について誤っている組合せはどれか。

1. 高尿酸血症——腎不全
2. 高コレステロール血症——急性膵炎
3. 糖尿病——起立性低血圧
4. 肥満症——睡眠時無呼吸症候群

設問9 肥満をきたす疾患はどれか。

1. 下垂体機能低下症
2. 甲状腺機能亢進症
3. クッシング症候群
4. アジソン病

設問10 単純性肥満が危険因子となる疾患でないのはどれか。

1. 糖尿病
2. 高血圧
3. 虚血性心疾患
4. ネフローゼ症候群

設問11 症候性肥満の原因疾患ないのはどれか。

1. 橋本病
2. クッシング症候群
3. 脳腫瘍
4. アジソン病

設問 12 単純性肥満に関連しないのはどれか。

1. 過食
2. クッシング症候群
3. 運動不足
4. 熱産生低下

設問 13 るい瘦の原因で消化吸収障害によるものはどれか。

1. 潰瘍性大腸炎
2. 糖尿病
3. 胃炎
4. 甲状腺機能亢進症

設問 14 るい瘦の原因で先天性代謝異常によるものはどれか。

1. ガラクトース血症
2. 褐色細胞腫
3. アジソン病
4. 肝不全

設問 15 糖尿病合併症の診断に必要なものはどれか。

1. 眼底写真
2. 振動覚
3. クリアチニン
4. グリコアルブミン

設問 16 糖尿病患者に合併しやすいのはどれか。

1. 結膜出血
2. 甲状腺腫大
3. 下肢の知覚鈍麻
4. アキレス腱反射亢進

設問 17 糖尿病について正しいのはどれか。

1. 合併症に白内障みられる。
2. 我が国では1型糖尿病が多い。
3. 2型糖尿病はインスリン療法が必須である。
4. HbA1c は最近1～2週間の血糖値を反映する。

設問 18 糖尿病性ケトアシドーシスのきっかけになる原因でないのはどれか。

1. 肺炎
2. 心臓発作
3. 脳卒中
4. 胃炎

設問 19 糖尿病について正しい記述はどれか。

1. 2型糖尿病は若年者に多い。
2. 乏尿がみられる。
3. グリコアルブミンは過去1~2か月の血糖値を反映する。
4. 1型糖尿病患者にはインスリン療法を行う。

設問 20 I型糖尿病について誤っているのはどれか。

1. 若年者に多い
2. 痩せ型である
3. インスリンの分泌障害である
4. ケトアシドーシスの状態になりやすい

設問 21 糖尿病の症状でないのはどれか。

1. インポテンツ
2. 易疲労感
3. 多食
4. 多飲

設問 22 糖尿病の食事療法について最も制限しないといけないのはどれか。

1. カロリー
2. 糖質
3. 脂質
4. タンパク質

設問 23 糖尿病の血液検査について誤っているのはどれか

1. 75g 経口ブドウ糖負荷試験は2時間値で評価する。
2. グリコヘモグロビンは1~2か月の血糖値を反映する。
3. 随時血糖値は126mg/dl以上で糖尿病型と判断できる。
4. フルクトサミンは1~2週間の平均血糖を反映する。

設問 24 糖尿病の過去 1 週間の平均血糖を調べる検査はどれか

1. HbA1c
2. OGTT
3. インスリン
4. グルコアルブミン

設問 25 糖尿病性網膜症について誤っている記述はどれか。

1. 失明の原因となる。
2. レーザーによる光凝固治療が行われる。
3. 硝子体出血をきたす。
4. 閃輝暗点が見られる。

設問 26 糖尿病の予防に有効でないのはどれか。

1. 飲 酒
2. 減 塩
3. ストレス解消
4. 摂取エネルギー制限

設問 27 痛風の食事療法で摂取制限をするのはどれか。

1. 糖 分
2. アルコール
3. 水 分
4. 塩 分

設問 28 痛風について誤っているのはどれか。

1. 痛風発作は昼間の運動時に起こりやすい
2. 尿路結石を生じやすい
3. 腎不全に陥ることがある
4. 好発部位は第 1 中足基底関節である

設問 29 高尿酸血症の治療法で適切でないのはどれか。

1. コルヒチンの投与
2. 適度な運動
3. アルコール制限
4. 食事指導

設問 30 誤っているのはどれか。

1. 痛風発作時の痛みは耐え難い痛みである。
2. 尿酸が蓄積されると腎臓が障害される。
3. 高尿酸血症であれば必ず痛風が発症する。
4. 痛風による皮下結節の好発部位は耳介である。

設問 31 痛風との関連性が少ないのはどれか。

1. 遺伝性素因
2. 腎障害
3. 脳血管障害
4. 肝障害

設問 32 痛風発作の痛みに関係するのはどれか。

1. 血中の尿酸値が高い
2. 尿酸塩の沈着
3. 運動中の発汗
4. 水分の過剰摂取

設問 33 ビタミン B2 欠乏による症状はどれか。

1. 皮膚炎
2. 精神障害
3. 神経炎
4. 貧血

設問 34 脂溶性ビタミンはどれか。

1. ビオチン
2. 葉酸
3. ビタミン B1
4. ビタミン A

設問 35 水溶性ビタミンはどれか。

1. ビタミン C
2. ビタミン D
3. ビタミン E
4. ビタミン K

設問 36 ビタミン欠乏症との組合せで誤っているのはどれか。

1. ビタミンK———メレナ
2. 葉酸———巨赤芽球性貧血
3. ナイアシン———ペラグラ
4. ビタミンA———骨軟化症

設問 37 ハンター舌炎の原因はどれか。

1. ビタミンB1
2. ビタミンB2
3. ビタミンB6
4. ビタミンB12

設問 38 骨軟化症で誤っているのはどれか。

1. 日光暴露の減少によるビタミンDの活性化障害
2. 肝疾患によるビタミンDの活性化障害
3. 消化不良によるビタミンDの吸収障害
4. 過剰摂取によるビタミンDの活性化障害

設問 39 骨軟化症のX線所見で誤っているのはどれか。

1. 骨皮質の菲薄化
2. 軟骨下骨の硬化像
3. 骨軟骨接合部の肥大
4. 骨折

設問 40 骨軟化症で高値を示すのはどれか。

1. 血清リン
2. 血清カルシウム
3. アルカリフォスファターゼ
4. アルドラーゼ

設問 41 肥満をきたす内分泌疾患でないのはどれか。

1. シーハン症候群
2. アジソン病
3. クレーブス病
4. クッシング症候群

設問 42 高脂血症で増加しないのはどれか。

1.  $\beta$  リポ蛋白
2. トリグリセリド
3. プリン体
4. コレステロール

設問 43 アキレス腱反射を減弱させるビタミン欠乏症はどれか。

1. ビタミン A
2. ビタミン B1
3. ビタミン C
4. ビタミン K

設問 44 38 歳の肥満女性、右季肋部の痙痛と発熱、黄疸を認められた。最も考えられる疾患はどれか。

1. 腎結石
2. 肝硬変
3. 総胆管結石
4. 膵頭部癌

設問 45 28 歳男性、1 年半前より飲酒の量が増えて食事回数が減少している。2 カ月前より息切れ、下肢の浮腫と怠さがある。歩行時にふらつきを認め、意識の障害も見られる。徒手検査では膝蓋腱反射、アキレス腱反射が減弱。

この患者で最も考えられる疾患はどれか。

1. ギランバレー症候群
2. ゲンストマン症候群
3. ウェルニッケ脳症
4. ペラグラ

設問 46 設問 45 の疾患の原因と考えられるのはどれか。

1. ビタミン B1 欠乏症
2. 末梢神経障害
3. ニコチン酸欠乏症
4. 脳卒中後後遺症

設問 47 メレナの原因として考えられないのはどれか。

1. マロリーワイス症候群
2. 過敏性腸症候群
3. 食道静脈瘤
4. 胃潰瘍

設問 48 痛風の関節痛の発症が稀な部位はどれか。

1. 第1中足趾節関節
2. 足関節
3. 肘関節
4. 股関節

設問 49 三大栄養素の過剰摂取が関係するのはどれか。

1. 脂質異常症
2. I型糖尿病
3. 巨赤芽球貧血
4. 高カルシウム血症

設問 50 抗酸化力の強いビタミンはどれか。

1. ビタミンA
2. ビタミンB1
3. ビタミンB2
4. ビタミンC

## 血液・造血器疾患

設問1 誤っている組合せはどれか。

1. 鉄欠乏性貧血———偏食
2. 巨赤芽球性貧血———妊娠
3. 溶血性貧血———肝腫大
4. 再生不良性貧血———出血傾向

設問2 鉄欠乏性貧血について適切でない記述はどれか。

1. 息切れ・動悸の訴えがある。
2. 妊娠時に起こりやすい。
3. ビタミン剤の投与が有効である。
4. 血清フェリチン値は減少する。

設問3 鉄欠乏性貧血の原因として適切でないのはどれか。

1. 大腸癌
2. 過多月経
3. 妊娠
4. 痛風

設問4 鉄欠乏性貧血の症状でないのはどれか。

1. スプーン状爪
2. 舌炎
3. 嚥下困難
4. 頻脈

設問5 鉄欠乏性貧血の症状でないのはどれか。

1. 息切れ
2. 倦怠感
3. 食欲不振
4. 異食症

設問6 鉄欠乏性貧血の鉄剤投与終了の指標となるのはどれか

1. 赤血球数の正常化
2. ヘモグロビン値の正常化
3. 不飽和鉄結合能の正常化
4. 血清フェリチン値の正常化

設問7 鉄欠乏性貧血について正しい記述はどれか。

1. 男性に多くみられる。
2. ハンター舌炎がみられる。
3. フェリチンが減少する。
4. 総鉄結合能が減少する。

設問8 鉄欠乏性貧血について適切でない記述はどれか。

1. 息切れ・動悸の訴えがある。
2. 妊娠時に起こりやすい。
3. ビタミン剤の投与が有効である。
4. 血清フェリチン値は減少する。

設問9 鉄欠乏性貧血で異常を示さないのはどれか。

1. ヘマトクリット
2. フェリチン
3. 血清鉄
4. 好塩基球

設問10 巨赤芽球性貧血の所見でないのはどれか。

1. 位置覚の低下
2. 腱反射減弱
3. 知覚過敏
4. シビレ感

設問11 大球性正色素性貧血はどれか。

1. 巨赤芽球性貧血
2. 鉄欠乏性貧血
3. 溶血性貧血
4. 再生不良性貧血

設問12 胃全摘出後に起こる貧血はどれか。

1. 悪性貧血
2. 再生不良性貧血
3. 自己免疫性溶血性貧血
4. 葉酸欠乏性巨赤芽球性貧血

設問 13 脾腫、黄疸、胆石症、血尿を症状とする疾患はどれか。

1. 遺伝性球状赤血球症
2. 赤血球増加症
3. 慢性骨髄性白血病
4. 巨赤芽球性貧血

設問 14 溶血性貧血で認められないのはどれか。

1. ハインツ小体
2. レビー小体
3. 標的赤血球
4. ジョリー小体

設問 15 疾患と検査の組合せで誤っているのはどれか。

1. 遺伝性球状赤血球症——赤血球浸透圧抵抗
2. 自己免疫性溶血性貧血——フローサイトメトリー法
3. 発作性夜間ヘモグロビン尿症——シヨ糖試験
4. 異常ヘモグロビン症——遺伝子検査

設問 16 再生不良性貧血について誤っているのはどれか。

1. 骨髄の低形成
2. 汎血球減少
3. 造血幹細胞の異常
4. 血漿鉄消失時間短縮

設問 17 疾患と症状の組合せで誤っているのはどれか。

1. 悪性貧血——食欲不振
2. 再生不良性貧血——感冒
3. 鉄欠乏性貧血——嚥下困難
4. 溶血性貧血——蛋白尿

設問 18 疾患と検査所見の組合せで誤っているのはどれか。

1. 鉄欠乏性貧血——フェリチン減少
2. 溶血性貧血——血清 LDH 増加
3. 再生不良性貧血——血清鉄低値
4. 巨赤芽球性貧血——坑内因子抗体陽性

設問 19 病因との組合せで誤っているのはどれか。

1. 血友病——伴性優性遺伝
2. 悪性貧血——無効造血
3. 紫斑病——自己免疫疾患
4. 再生不良性貧血——抗生物質

設問 20 血友病について正しい記述はどれか。

1. 関節内血腫がみられる。
2. 血小板数の減少がみられる。
3. 免疫抑制薬を投与する。
4. 女性に多い。

設問 21 血友病について誤っているのはどれか。

1. 遺伝性疾患
2. 血小板数減少
3. 毛細管抵抗正常
4. 凝固時間延長

設問 22 特発性血小板減少性紫斑病の症状で適切でないのはどれか。

1. 関節内血腫
2. 鼻出血
3. 歯肉出血
4. 皮膚の点状出血

設問 23 所見の組合せで誤っているのはどれか。

1. 多発性骨髄腫——ペンズ・ジョーンズ蛋白
2. 急性骨髄性白血病——血小板抗体
3. 悪性リンパ腫——頸部リンパ節腫大
4. 特発性血小板減少性紫斑病——出血時間延長

設問 24 血小板減少をきたす原因となる病変臓器はどれか。

1. 肺 臓
2. 脾 臓
3. 脾 臓
4. 腎 臓

設問 25 血小板が増加する疾患はどれか。

1. 肝硬変
2. 慢性骨髄性白血病
3. 再生不良性貧血
4. 悪性貧血

設問 26 骨髄での血小板減少にかかわる疾患でないのはどれか。

1. 白血病
2. 再生不良性貧血
3. 肝硬変
4. ビタミン B12 欠乏性貧血

設問 27 慢性骨髄性白血病について誤っているのはどれか。

1. 白血病裂孔がある
2. 染色体異常である
3. アルカリフォスファターゼ活性が低下する
4. 好酸球が多い

設問 28 特発性血小板減少性紫斑病について正しいのはどれか。

1. 慢性型は女兒に多い
2. アレルギーが関連している
3. 骨髄での血小板産生は正常である。
4. 急性型は予後が良好である

設問 29 誤っている組合せはどれか。

1. 急性型特発性血小板減少性紫斑病——成人女性
2. 急性リンパ球性白血病——ペルオキシダーゼ反応陰性
3. 悪性リンパ腫——ホジキン病
4. 慢性骨髄性白血病——造血幹細胞移植

設問 30 血友病の重症度に重要な検査所見はどれか。

1. プロトロンビン時間
2. 出血時間
3. 活性化部分トロンボプラスチン時間
4. 血小板数

## リウマチ性疾患・膠原病

設問1 ベーチェット病について正しい記述はどれか。

1. 高齢者に多い。
2. 病的骨折がみられる。
3. ブドウ膜炎がみられる。
4. ビタミンB12の不足が原因である。

設問2 全身性エリテマトーデスについて正しい記述はどれか。

1. 男性に多い。
2. 増悪と寛解を繰り返す。
3. 白血球が増加する。
4. 陰部潰瘍がみられる。

設問3 ベーチェット病の特徴的な症状でないのはどれか。

1. ブドウ膜炎
2. 中耳炎
3. 口腔内アフタ性潰瘍
4. 陰部潰瘍

設問4 関節リウマチの関節外症状として適切でないのはどれか。

1. 間質性肺炎
2. 皮下結節
3. 血管炎
4. 陰部潰瘍

設問5 関節リウマチと関係のないのはどれか。

1. ボタン穴変形
2. Z型変形
3. 尺側偏位
4. ブシャール結節

設問6 全身性エリテマトーデスで誤っている記述はどれか。

1. 高脂血症を合併する。
2. 20～40歳代の女性に好発する。
3. 関節痛がみられる。
4. 蝶形紅斑が特徴的である。

設問7 全身性エリテマトーデスについて正しい記述はどれか。

1. 血清 $\gamma$ -グロブリン値は低下する。
2. 末梢白血球数は減少する。
3. 補体値は高値となる。
4. HLA-B51 が陽性である。

設問8 全身性エリテマトーデスの血清免疫学的検査について誤っている記述はどれか。

1. 抗核抗体は高値を示す。
2. 抗DNA抗体は陽性を示す。
3. 補体値は高値を示す。
4. 抗ENA抗体は陽性を示す。

設問9 疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。

1. 再生不良性貧血——ハンター舌炎
2. 悪性リンパ腫——レイノー現象
3. 皮膚筋炎——陰部潰瘍
4. ベーチェット病——口腔内アフタ性潰瘍

設問10 間質性肺炎を来さない膠原病周辺疾患はどれか

1. 強皮症
2. ベーチェット病
3. 皮膚筋炎
4. 全身性エリテマトーデス

設問11 全身性エリテマトーデスで見られないのはどれか。

1. 皮下結節
2. けいれん
3. 脱毛
4. 口腔粘膜潰瘍

設問12 関節リウマチで誤っている記述はどれか。

1. 20～50歳の女性に好発する。
2. 脊椎の好発部位は環軸関節である。
3. X線検査で骨びらんがある。
4. 関節炎は四肢の大関節から始まる。

設問 13 誤っている組合せはどれか。

1. 多発性動脈炎——壊死性血管炎
2. 皮膚筋炎——ヘリオトロープ皮疹
3. 全身性硬化症——続発性アミロイドーシス
4. リウマチ熱——多発性関節炎

設問 14 関節リウマチの診断基準でないのはどれか。

1. 朝のこわばりは1時間以上
2. 2関節領域以上の腫脹
3. 対称性関節腫脹
4. 皮下結節

設問 15 全身性強皮症の所見でないのはどれか。

1. ソーセージ様手指
2. 仮面様顔貌
3. 抗核抗体陽性
4. フィブリノイド壊死

設問 16 女性の好発する膠原病でないのはどれか

1. 全身性硬化症
2. ベーチェット病
3. 多発性筋炎
4. 全身性エリテマトーデス

設問 17 全身性エリテマトーデスの臓器症状でないのはどれか。

1. ループス腎炎
2. 間質性肺炎
3. 心外膜炎
4. 虹彩毛様体炎

設問 18 シェーグレン症候群について誤っているのはどれか。

1. 30から40歳代の女性に多い
2. 耳下腺腫脹を認める
3. 眼のかすみ
4. リウマチ症状を伴う

設問 19 ベーチェット病で異常値を示さないのはどれか。

1. CRP
2. 血清 IgA
3. 針反応
4. シルマーテスト

設問 20 関節リウマチの X 線検査所見でないのはどれか。

1. 骨びらん
2. 裂隙の狭小化
3. 関節強直
4. 骨皮質の肥大

設問 21 関節リウマチの血液検査で誤っているのはどれか。

1. 血小板減少
2. 赤沈亢進
3. 赤血球減少
4. C 反応性タンパク質陽性

設問 22 ヘバーデン結節について誤っているのはどれか。

1. 遠位指節関節に生じる
2. 初期症状は軽度の発赤と熱感
3. X 線検査で骨の萎縮と菲薄化
4. 女性に多い

設問 23 23 歳女性、お昼ごろから両下肢に力が入らなくなったため来院した。1 年前と 4 か月前に右眼の視力低下を生じたが、数日で回復した。意識は清明。対麻痺、感覚障害および膀胱障害を認める。血液検査では、血清 CK 正常、血中カリウム正常。最も考えられる疾患はどれか。

1. 多発性筋炎
2. 多発性硬化症
3. 周期性四肢麻痺
4. 脊髄血管障害

設問 24 強皮症で見られるのはどれか。

1. 光線過敏
2. 環状紅班
3. 口腔内びらん
4. 指尖部潰瘍

設問 25 皮膚筋炎に併発しやすいのはどれか。

1. 悪性腫瘍
2. 指尖潰瘍
3. 多発単神経炎
4. びらん性関節炎